



久保井 永三  
(統一)

**LRT整備事業  
宇都宮駅西側区間  
整備計画の説明を**

**問** LRT整備事業について聞く。

①宇都宮駅から芳賀町までのルートと予算は示されたが、駅西側については示されていない。明確に示すべきと考えるがどうか。

②駅東口から駅西口までのLRTルート上には駅舎があり、在来線や新幹線が運行している。駅横断部の計画を明確に示すべきと考えるがどうか。

**答** ①駅西側については、15年に概算事業費を約110億円と試算し公表したが、それ以降は改めては精査していない。

計画区間は、25年の基本方針で桜通り十文字付

近までとした。現在、仮称大谷スマートICの事業化などを踏まえさらなる延伸を含め検討しており、28年度末を目途に交通網イメージを明らかにする。29年度にLRT導入課題の対応策を整理し、その中で概算事業費も算出する。

②駅舎の1階に在来線、3階に新幹線が整備されているため、LRTは2階を通過し、駅ビル商業施設の北側を通るルートをも有力案と評価した。現在、LRT導入を見据えた西口駅前広場などの検討を進めており、駅横断ルートの計画は、今後、駅西口周辺地区の整備基本計画を策定する中で明らかにしていく。



▲駅西口周辺の様子

**その他の質問項目**

①冒険活動センター及び平出工業団地における土壌・水質汚染②防災無線③本市所管部局内の連携と引き継ぎ④福祉施設での虐待⑤災害廃棄物・産業廃棄物



内藤 良弘  
(自民党)

**宇都宮産ブランド  
米の生産振興を**

**問** 少子高齢化や食の多様化により、今後の米の需要は毎年減少する傾向と示されており、農家の所得向上のための取り組みが必要不可欠である。

また、国の減反政策が30年産から廃止されることから、米づくりの先行きが不透明で、不安を感じている農家もいる。

ストーリー性があるブランド米の創出や、需要を見据えた米の生産振興など、売れて収益も高い米を生産販売する必要があると思うがどうか。

これまで「みやおとめ」などの生産支援や、宇都宮産米を配付するうつのみやをはじめてごはん事業など消費拡大のPRを行い、宇都宮産米はおいしいとの評価を得ている。

今後、ストーリー性を持たせた「ブリッツェン米」やコンビニのおにぎりや弁当用として需要が高まっている「ゆうだい21」などの高品質な米の生産振興に、関係機関と連携して努めるとともに、マーケティングを行い、将来に渡って市場価値を高め、全国有数の産地となるよう取り組みをすすめていく。



▲ブリッツェン米

**その他の質問項目**

①市への定住及び東京圏からの移住・定住の促進②27年国勢調査結果③市民協働のさらなる推進④地域包括ケアシステムの構築⑤有害鳥獣被害対策の強化⑥公共建築物の長寿命化⑦市における高等教育の充実と大学の誘致⑧市長選挙



福田 久美子  
(共産党)

**就学援助制度  
さらなる改善を**

**問** 共産党議員団は、就学援助制度の拡充と改善を求め、28年10月に、小中学校の入学準備に間に合う支給と、申請をためらう要因の一つの民生委員の関与を廃止する要望書を提出した。

①28年12月の補正予算に、中学入学準備金の3月支給を計上したことは評価するが、見送られた小学校入学準備金は、どう検討しているのか。

②就学援助率は全国平均15%から16%で、市の8%から9%と大きな格差があるが、どう分析するか。中核市で、民生委員の関与を義務付けているのは2市のみであり、改めて義務付けは廃止すべきと考えるがどうか。

①小学校入学準備金は就学前の申請で、学校を通じた制度の周知や対象者の把握、支給方法などに課題があり、他市の状況も踏まえ、引き続き検討していく。

②中核市の状況を調査したところ、援助率が低い市は市民所得が高い傾向にあり、要因の一つになっていると考える。本市では、民生委員の所見を踏まえた再審査で就学援助を認定する場合もあり、現時点での民生委員の関与は必要と考える。今後とも、他市の状況を把握などをしながら、民生委員の関わり方を調査・研究していく。



**その他の質問項目**

①市長の政治姿勢(市長選挙、LRT事業、福祉・くらし・子育て・教育など本市の優先すべき課題)②循環型社会の形成(循環型社会形成の位置づけ、生ごみ減量化の積極的取り組み)③人権に関する課題(市人権施策推進指針、多様な性を認め合う社会づくり)